

○ 栃木県最低制限価格制度事務処理要領の最低制限価格設定の運用について

令和4年5月9日付け監第34号  
 県土整備部長から部内各課長、各出先機関の長あて通知  
 各部局長、教育長、県警本部長あて参考通知

標記の件について、栃木県最低制限価格制度事務処理要領（以下、「要領」という。）第3の運用を下記のとおり定めたので通知します。

なお、令和元年9月30日付け監第158号「栃木県最低制限価格制度事務処理要領の最低制限価格設定の運用について」は廃止します。

記

1 最低制限価格の設定

(1) 適用工事の最低制限価格の設定（要領第3の1の（1）関係）

最低制限価格の算定にあたり、土木電気通信設備工事、土木機械設備工事、下水道機械設備工事及び下水道電気設備工事は土木工事（建築工事及び設備工事以外）に含まれるものとし、次表の「工事の種別」に掲げる工事の積算上の各費目については、「要領第3でいう経費等の区分」の欄に示すとおりに区分するものとする。

工事の種別		要領第3の1の（1）でいう経費等の区分			
		①直接工事費に区分するもの	②共通仮設費に区分するもの	③現場管理費に区分するもの	④一般管理費等に区分するもの
鋼橋上部工事	鋼橋製作工（工場製作）	直接工事費	間接労務費	工場管理費	一般管理費等
土木電気通信設備工事	機器単体費（工場製作）	直接製作費	間接労務費	工場管理費	一般管理費等
	工事費	直接工事費	共通仮設費	現場管理費 機器間接費	一般管理費等
土木機械設備工事	製作費	直接製作費	間接労務費	工場管理費 設計技術費	—
	据付工事	直接工事費	共通仮設費	現場管理費 据付間接費 設計技術費	一般管理費等
下水道機械設備工事	機器費	機器費×1/2	機器費×1/4	機器費×1/4	—
	据付工事	直接工事費	共通仮設費	現場管理費 据付間接費 設計技術費	一般管理費等
下水道電気設備工事	機器費	機器費×1/2	機器費×1/5	機器費×1/5	機器費×1/10
	据付工事	直接工事費	共通仮設費	現場管理費 据付間接費 設計技術費	一般管理費等

なお、土木電気通信設備工事において機器単体費を、土木機械設備工事において製作費（製作原価に一般管理費を加えた額）を見積り等（積み上げ積算以外）により決定

した場合、要領第3の1の(1)でいう経費等の額は次のとおりとする。

- ①直接工事費 = (機器単体費又は製作費) × 1 / 2
- ②共通仮設費 = (機器単体費又は製作費) × 1 / 5
- ③現場管理費 = (機器単体費又は製作費) × 1 / 5
- ④一般管理費等 = (機器単体費又は製作費) × 1 / 10

ただし、表の「工事の種別」に掲げる工事において見積り等(積み上げ積算以外)により決定した場合、見積り内訳で直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等に相当する額(割合)が明示されているときは、その額(割合)によるものとする。

(2) 適用業務委託の最低制限価格の設定(要領第3の1の(2)関係)

複数の業種区分(「栃木県建設工事関連業務委託事務処理要領」別表に規定するもの)を合冊して発注する場合の「予定価格算定の基礎となった次に掲げる額の合計額」は、要領第3の1の(2)のそれぞれの業種区分毎に積算した額の合計額とする。

また、最低制限価格の算定は、要領で規定する適用業務委託のみの積算を合算し、適用業務委託以外の分は含めないものとする。

(3) 「工事価格への積上費(請負率対象外)」が含まれる工事の最低制限価格の設定(要領第3の1の(1)関係)

「工事価格への積上費(請負率対象外)」が含まれる工事については、要領第3の1の(1)の規定に代えて次の規定を適用するものとする。

最低制限価格は、予定価格算定の基礎となった次に掲げる額(円未満切り捨て)の合計額(ただし、その額が工事価格に10分の9.2を乗じて得た額を超える場合は10分の9.2を乗じて得た額、その額が工事価格に10分の7.5を乗じて得た額に満たない場合は10分の7.5を乗じて得た額)から1万円未満の端数を切り捨てた額に100分の110を乗じて得た額とする。

- ①直接工事費の額に10分の9.7を乗じて得た額
- ②共通仮設費の額に10分の9を乗じて得た額
- ③現場管理費の額に10分の9を乗じて得た額
- ④一般管理費の額に10分の6.8を乗じて得た額
- ⑤工事価格への積上費(請負率対象外)の額

2 その他

この運用は、令和4年6月1日から適用する。